

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1990100099		
法人名	(有)保泉商事		
事業所名	グループホーム花みずき		
所在地	山梨県甲府市上阿原526-1		
自己評価作成日	平成21年11月23日	評価結果市町村受理日	

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

当ホームは、開設して2年あまりになります。体操、レクリエーション、カラオケ、DVD、ボランティアによる活動など、できるだけ入居者の楽しみとなるようなサービスを提供させていただいています。また、畑があるので春、夏、秋には希望される方は、園芸や農作業をさせていただいています。

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigo-kouhyo-yamanashi.jp/kaigosip/Top.do
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	山梨県社会福祉協議会		
所在地	甲府市北新1-2-12		
訪問調査日	平成22年1月12日		

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

ホームが、町の中にあり、いろいろな店が近い為に、外出や買い物安易に出来るメリットがある。建物が1階建てで、表と裏に出入り口があり、周りには畑もあり、安心して土に触れられる環境が良い。また、ホールからはペランダに出られて、いつでも外気浴が出来る。居室内もタンスのみが共通で、他の家具は個人の持ち込みとなっており、一人ひとりの個性が出ている。運営推進会議時に、消防訓練を行う等、地域との連携も出来ている。職員がゆったりと関わりを持っている為か、利用者が落ち着いた時間を過ごしている。中には、数字の計算とか漢字の書き取り等を行っている利用者もいる。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない			

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「いつでも、どこでも、誰にでも」を理念に掲げ、地域の中で、温かい介護サービスを目指している。	パンフレットに記載したり、ホーム内に掲示している。 月1回、開催の全体会議やケア会議の中で、理念を共有化している。	地域密着型サービスの意義をふまえた内容のものを、ホームの理念に入れ、全職員で、その理念に基づいたサービスの提供が出来る様に期待する。
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会には加入しているものの、地域活動への参加には至っていない。今後は、できるだけ地域の行事や防災訓練等に参加していきたいと考えています。	散歩時に、畑作業をしている人や、学生等と挨拶をし、ふれあいの機会が少しずつ増えて来ている。 自治会の回覧物は、利用者に提示している。 地域主催の短歌の会等にも参加している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	面会や電話連絡等を通じ、理解や支援の方法を伝えています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2か月に1回の割合で、運営推進会議を開催しサービスの向上に活かしています。	インフルエンザ対策はどうなっているか等の質問があったり、また、困った時には、協力しますという意見も頂いている。会議の時に、消防訓練を一緒に行う事もある。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	開設前から、市町村担当者にはよく相談に乗っていただき、サービスの質の向上に取り組んでいます。	介護保険の関係で困った時等は相談している。地域包括支援センターの集まり(3か月に1回)には参加し、お互いに情報交換している。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束については、研修等に参加して拘束しないケアを学び、取り組んでいます。	契約書に身体拘束をしない事が明記されている。身体拘束廃止のためのマニュアルが作成されており、研修にも参加している。暴力行為のある利用者は、行動力が落ちない様に漢方薬を処方してもらっている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職場内において高齢者虐待について学び、職員一同、虐待防止に努めています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護に関する制度の理解や勉強会などを時々開いて、必要性を話し合っています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約書を提示し説明させていただき、不安な点・疑問点などその場でお聞きし、その場でお話しをさせていただいています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者の日々の生活の中で、苦情・不満は、その都度、聞きながら対応させていただいています。家族の方にも、本人が言えない場合は、代弁していただき対応しています。	運営推進会議に出た意見は、全体会議で話し合っている。面会時に、もっと買い物に行ってほしいという意見があったので、増やしている。重度の利用者は、日常の関わりの中で思いをつかむ様になっている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月開催するミーティングにおいて意見・要望・提案等を聞く機会を設け、職員の意見が反映できるよう、ホーム全体で取り組んでいます。	施設長と職員で毎月会議を開催し、自由に意見が述べられる雰囲気になっている。本部の代表者に、ホームの状況を毎日ファックスにて報告し、ホーム内で解決出来ない事は相談している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	運営者は管理者を通じ職員の個々の努力に対して、職員が働きやすいように取り組んでいます。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	毎月開催するミーティングにおいて、勉強会も兼ねて行っている。研修会などにも、できる限り参加できる機会を作れるよう取り組んでいます。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域包括支援センターや他施設との交流もあり、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	相談から入居までの中で、本人の不安な気持ち・要望等をよく聞き、安心して入居されるよう努力しています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	相談の時点で、家族の方の不安または求めていることに対して、しっかり耳を傾け、事前見学等も行い、受けとめる努力を行っています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人との面談・家族との面談・ケアマネジャーと相談し、支援方法を考え、他のサービスの紹介や提案対応に努めています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人ができること、昔から家事をなさったことを忘れないように、できることはしていただき楽しく一日を過ごしています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族の面会は、利用者にとって一番の楽しみであり、頻繁に来ていただき、関係が薄くならないように対応させていただいています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	利用者の友達・従兄弟たちも、よく面会に来られます。居室でお茶を飲みながら過ごしていただき、帰られる際も、また来ていただけるようお願いしています。	漢字の書きとりや、数字の計算等をしている人がいて、昔の得意なことが継続出来る様にしている。居室内も家族の写真や、使っていた家具等を持ち込み、生活環境が継続できる様支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	職員が間に入り、利用者同士が良い関係が築けるよう努めています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	他の施設へ入居された方、または入院された方に対しては、職員が施設を訪問し、家族の方には、その後の様子など、電話させてもらい関係を保っています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	毎日の生活の中でも、小さな変化をも逃さず、その人らしい生活が送ることができるように援助させていただいています。	センター方式のアセスメント表を用いて、本人・家族の思いや意向をつかんでいる。重度な利用者は、日常的な関わりの中で思いをつかんでいる。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時の前に、本人宅に訪問または病院に訪問し、本人・家族の方・関係者などから聴き取るようにしている。入居以後も本人・家族の方々には、その都度、お聞きしています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者1人ひとりの生活のリズムは、全員違いがあります。1人ひとりの生活のリズムを把握するよう努めています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用者や家族の方々には、その方の生活面でのお話しやその方の様子を聞き、ホームでのケアのあり方を考えさせていただいています。それぞれの意見や希望を反映した介護計画を作成しています。	利用者ごとの介護計画にそって支援し、定期的に全職員で話し合い評価している。必要に応じてプランを変更したり、そのまま継続するなどして、常に現状にあった介護計画としている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の記録を通して、その方の体調の変化、低下状況などを観察し、介護計画の見直しにつなげています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	施設の機能性は、利用者の変化に伴ってその都度整えています。設備等の不足な点があれば、補いながら柔軟な対応をしています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	民生委員、ボランティア、消防等と協力しながら支援しています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月2度の往診時に、その都度指示をいただいている。ホームで実施可能な支援を、主治医と相談・連携をとっています。	ホームにかかりつけ医はいるが、希望で耳鼻科・整形等の受診をしている。家族が付き添えない時は、職員が対応している。かかりつけ医や家族の緊急一覧表を作成し、緊急時の速やかな対応が出来る様にしている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師資格を有する職員を夜間に置き、健康を管理し、異常の早期発見に努めています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院先・受診先を訪問し、病院関係者との情報共有に努めています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	状況に応じて主治医との連携、家族、本人等と話し合いを行う。そして方針を決め全職員にも、その旨を伝え、共有していきたいと思っています。	今まで看取りの介護はしていないが、状況をみながら対応する事について、家族から同意を得ている	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	利用者の事故・急変時は、職員一同落ち着いて応急手当・対応等の訓練は行っています。職員間で勉強会も開いています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	利用者・スタッフ一同、消防訓練を行っています(直近では8月)。初期消火の訓練、避難誘導の訓練等を行っています。	運営推進会議の際に、避難訓練を行い会議の参加者も一緒に参加している。IHを使用して居室内は、倒れる様な危険物はなくしている。防災マップに入っている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者の今に至るまでの生活を尊重し、人生の先輩であることを、職員に日頃から話し対応するようにしています。また、その方のプライバシーを損ねるような対応を行わないよう、皆で話し合っています。	名前は名字で呼ぶようにし、言葉づかいには注意し、利用者の人格を傷つけないようにしている。 身だしなみには気を付けており、きちんと背広を着ている男性もいる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	その方の状況に合わせた介護の仕方、自分から希望を表せるように働きかけを行うとともに、その方にわかりやすい説明を行い、自分で決めたり、納得できるような支援をしています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日々の生活の中で、その人らしい生活と同時に、その人らしい考えで過ごしていただくように努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	利用者の希望の日に、美容院の方に来ていただく。日々の生活の中では、本人が身につけている化粧道具のある方もいます。顔につけるクリームのみの方もいます。希望に沿った支援をしています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の希望のメニューも取り入れ、1人ひとりの好みも活かしています。	希望を聞いて、献立の中に取り入れている。「いつもおいしいよ。」「残さないよ」との利用者の声が多い。職員と和やかに食事している。下膳やテーブル拭きは、自発的に利用者が行っている。	台所が自由に出入り出来る様になっているので、もう少し利用者に、調理出来る所はしていただける対応の工夫を期待する。献立作成もレク活動の様に、皆で作成するの一案として考えられる。
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者の好みの飲み物は、いつも用意させていただき、本人の希望により、飲まれています。また、栄養バランス等にも気をつけています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアは、スタッフの声かけで皆さんがんばっています。義歯の方も多く、清潔に心がけています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	利用者はほとんどの方はリハビリパンツ・パットの使用です。スタッフが、その方の排泄の間隔を把握しているので、トイレ誘導を行っています。パットの使用量を少なく、リハビリパンツから普通のパンツへと変えた方もいます。	トイレの場所が分からない人も、排泄チェック表を参考に、時間をみて声かけ誘導している。失敗時は、他の利用者に分からない様にトイレ内で対応している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	その利用者に合う便秘の予防と対応を行っています。薬を飲まれている方もいます。食事・運動にも気をつけています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入浴は楽しみの一つです。入浴は毎日行い、ひとりの方が1日おきの入浴です。1人当たり30分くらいです。拒む方には、工夫して声掛けをしています。1人ひとりに合わせた入浴支援を行っています。	夜間の希望者はないが、午後ゆっくりと入浴してもらっている。見守りのみの方は見守りという様に、その人に必要な援助をしている。同性の介助を希望する人には、その対応をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中の生活を動く(活動する)ように促し、生活のリズムを整えていただく。体調に合わせた体力作りに努め、夜間はゆっくりと休んでいただいています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	お薬手帳・処方箋のコピーをファイルに整理し、職員は全員の薬に対して把握し、服薬時も本人に手渡し、口に入れて飲み切るまで確認することを必ず行っています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	女性の方は、自然と決まりかけています。得意分野も発揮してもらえるようお願いしています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	利用者の体調の良い日、天気の良い日は外出を行っています。外食にも行きます。とても楽しそうです。	散歩の日課はないが、外に畑があり、夏には野菜を皆で作っている。裏口には長靴と鍬が用意さえてあり、気軽に外の畑に出られる。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	家族の方からは、月に定めた金額をお預かりさせてもらっていますが、利用者自身には、お金の所持はしていただいています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	利用者の家族の方、お友達より電話がある方が気分よくお話しできるように、また他の利用者に聞こえないように工夫しています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有の空間は、利用者にとって不快な場にならないよう注意しております。全員が集まるホールは花など装飾し、利用者の家族とも気軽に話ができる居心地の良い場所にしたいと思います。	ホールにはソファの他、立ち上がりが楽な椅子も用意されている。利用者の手づくりの作品が掲示されており、ゆったりとくつろげる雰囲気がある。ホールからはベランダに出られ洗濯物が干せたり、外気浴も出来る様にベンチも用意されている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有空間(玄関ホールその他共同空間)は、ソファを設置し、利用者の「お話し場」と良いかと考えています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者は、いままで使い慣れた家具(タンス)や椅子、テーブルを持ち込まれて、いままでの生活と同じように落ち着いて生活できるようにしています。	施設で提供しているものは、タンスとカーテン(防災)のみで、後は自由に自分の物が持ち込めるので、それぞれ自分の好みの居室になっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	利用者の使用する洗面台、トイレなどは安全に使いやすくしてあり、自立した生活が出来るよう配慮させていただいています。入浴場も、介助しながらも、ゆっくり入浴できる工夫をしています。		